

平和を守るため安倍政権退陣を 日本共産党市議団・予定候補が終戦記念日街宣



「平和を守るために安倍政権の一日も早い退陣が必要」と訴える 左から山田まもる市議予定候補、坂本まさえ市議予定候補、加藤鉦一市議、加藤太一市議(衆院山形3区予定候補)、長谷川つよし市議予定候補

日本共産党市議団と新人の市議予定候補3人が15日、終戦記念日の街頭宣伝を市内4ヶ所でおこないました。安倍政権は秘密保護法や戦争法、共謀罪を強行し、憲法に自衛隊を書き込み、「明文改憲」の企てを図り、過去の戦争の誤りを反省していな

強行し、憲法に自衛隊を書き込み、「明文改憲」の企てを図り、過去の戦争の誤りを反省していな

強行し、憲法に自衛隊を書き込み、「明文改憲」の企てを図り、過去の戦争の誤りを反省していな

強行し、憲法に自衛隊を書き込み、「明文改憲」の企てを図り、過去の戦争の誤りを反省していな

強行し、憲法に自衛隊を書き込み、「明文改憲」の企てを図り、過去の戦争の誤りを反省していな

強行し、憲法に自衛隊を書き込み、「明文改憲」の企てを図り、過去の戦争の誤りを反省していな

強行し、憲法に自衛隊を書き込み、「明文改憲」の企てを図り、過去の戦争の誤りを反省していな

強行し、憲法に自衛隊を書き込み、「明文改憲」の企てを図り、過去の戦争の誤りを反省していな

強行し、憲法に自衛隊を書き込み、「明文改憲」の企てを図り、過去の戦争の誤りを反省していな

強行し、憲法に自衛隊を書き込み、「明文改憲」の企てを図り、過去の戦争の誤りを反省していな

強行し、憲法に自衛隊を書き込み、「明文改憲」の企てを図り、過去の戦争の誤りを反省していな

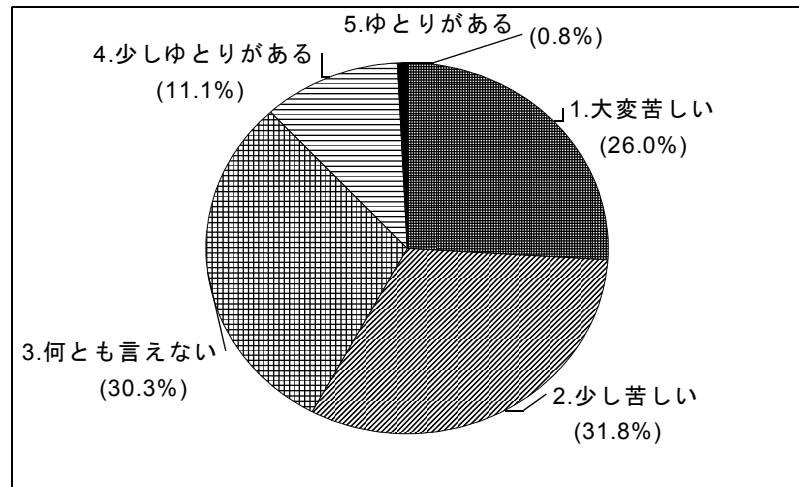
強行し、憲法に自衛隊を書き込み、「明文改憲」の企てを図り、過去の戦争の誤りを反省していな

8割近くが市政に不満

共産党市議団市政アンケート中間集計

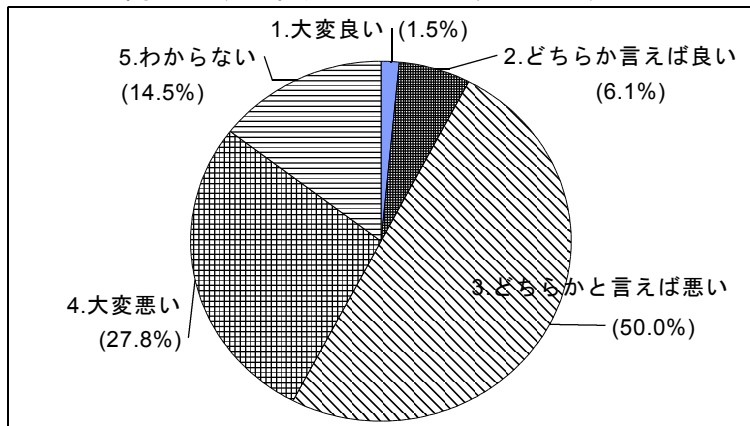
日本共産党鶴岡市議団が実施している「2017市政アンケート」について、8月14日現在の中間集計がまとまりました。(回答数39)

問1. 今の生活状況はいかがですか

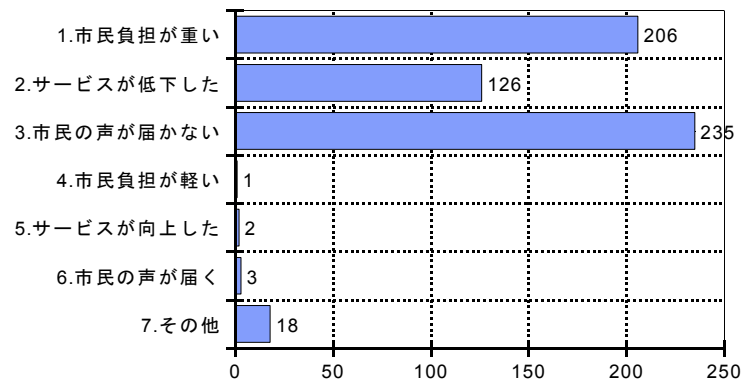


14日現在の中間集計がまとまりました。(回答数39)

問2. 今の市政についてどう思いますか



理由はどんなことですか (複数回答可)



核兵器廃絶に対する知事態度

▽6日が広島、9日が長崎への原爆投下の日、15日が終戦記念日。

今年も、核兵器廃絶・恒久平和を願う様々な取り組みが行われました。私は11日の夜、医療生協やまがたの平和夏まつりで挨拶をさせて頂きました。国連で核兵器禁止条約が締結され、人類史上初めて核兵器が違法化されたことを挙げ、草の根の運動が保有国を始めとする大国の思惑を乗り越えて世界を動かす時代に入ったことなどを訴えました。

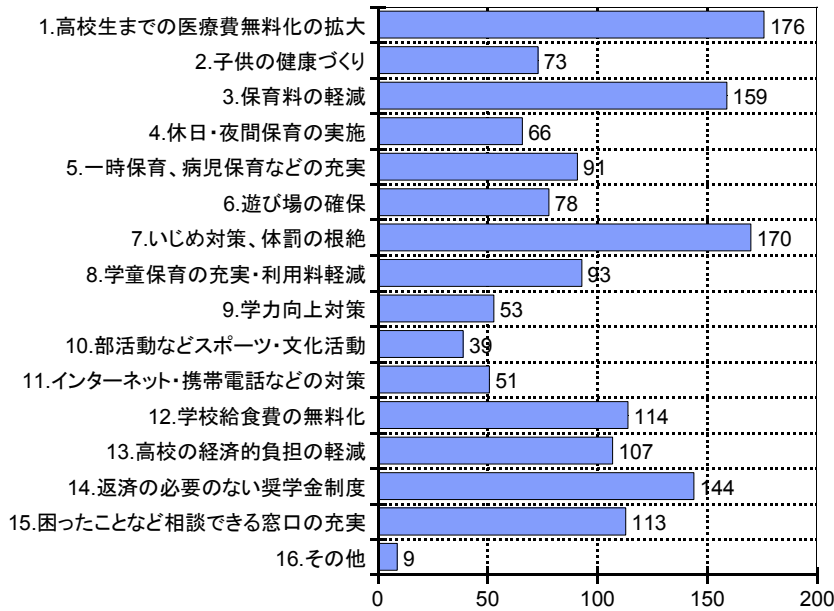
現在、全国16県の知事が賛同しているようですが、アメリカの顔色をうかがって条約に反対した日本の総理大臣とは違って、被爆国立派な見識と受け止めました。

▽先月18日のことですが、ヒバクシャ国際署名(核兵器禁止条約の)

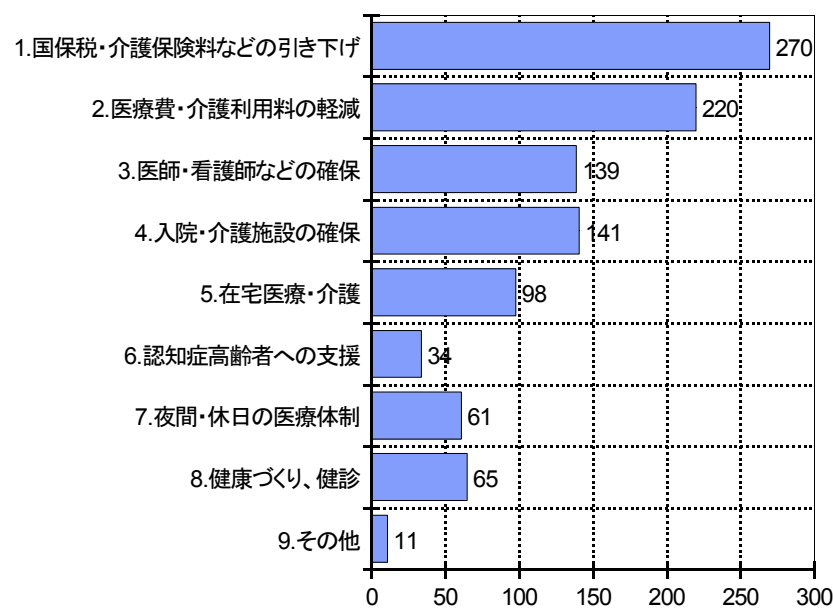
(真議 関 徹)



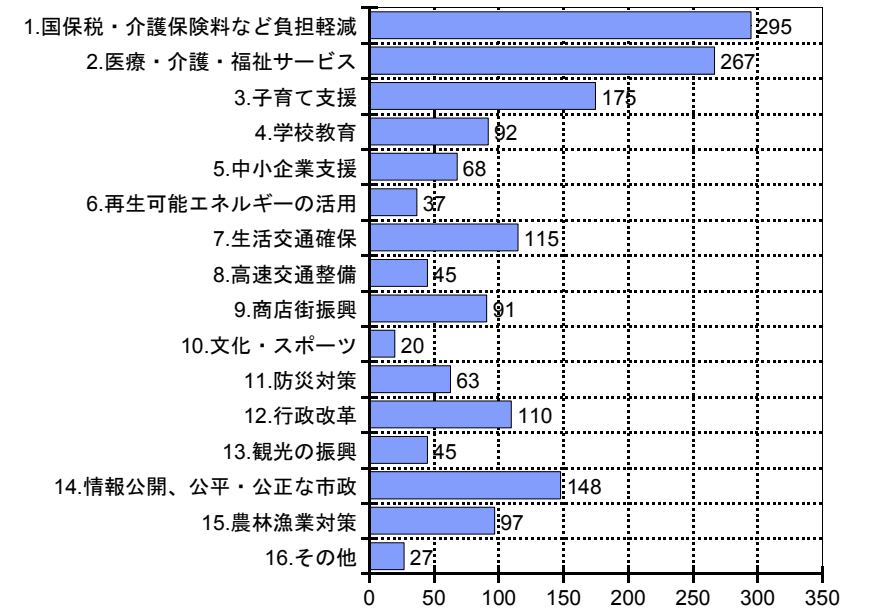
問5. 子育て支援・教育について望むことを5つまで選んでください



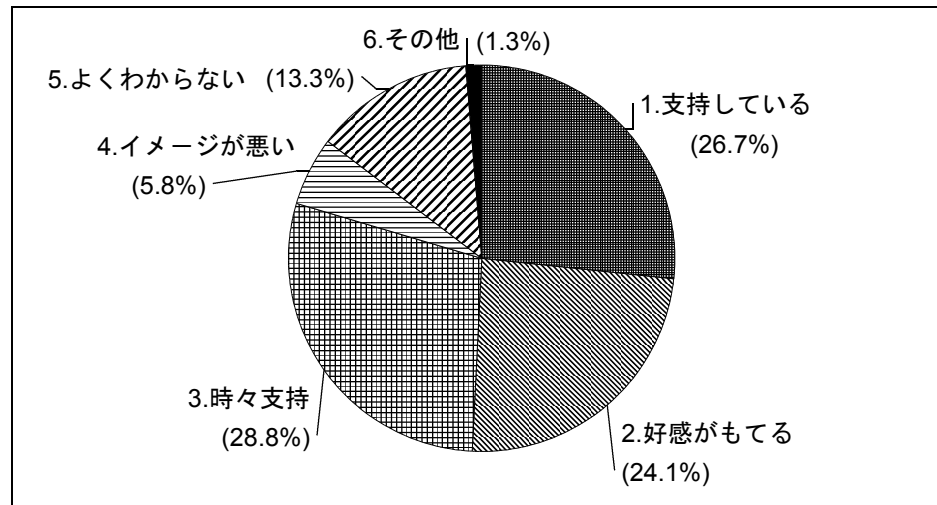
問4. 医療・介護・福祉について大事だと思うものを3つまで選んでください



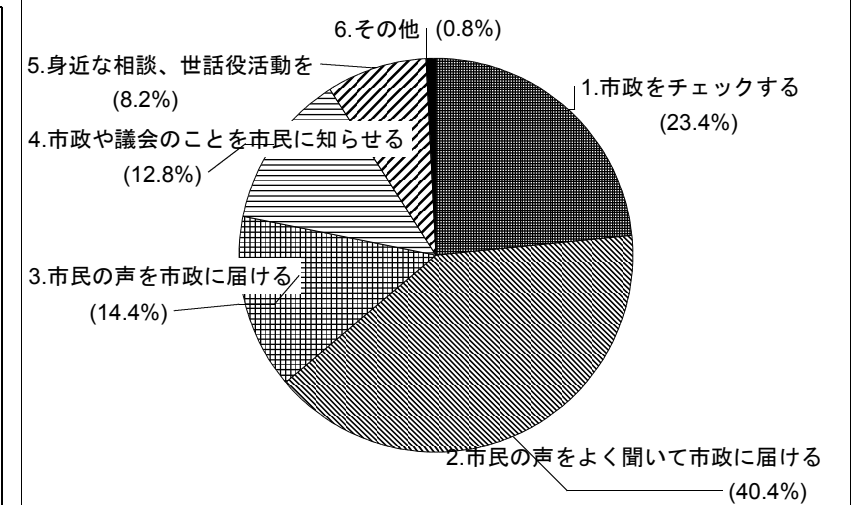
問3. 市政が力を入れるべきだと思うものを5つまで選んでください



問8. 日本共産党についてどう思いますか。

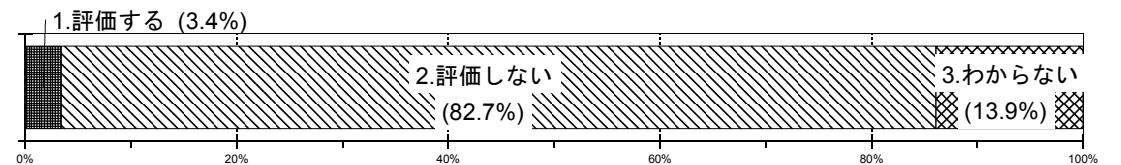


問7. 市議会議員に何を望みますか。1つ選んで下さい。

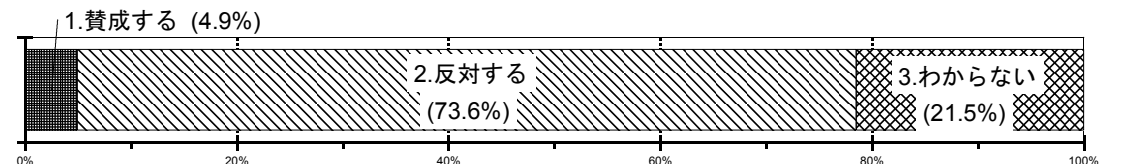


問6. 国政についておうかがいします。

安倍首相は、「共謀罪」法案を異常なやり方で強行、加計学園疑惑の解明に背をむけていますが、安倍内閣をどう考えますか。



安倍首相は2020年まで憲法9条改訂をしました。どう考えますか



都市の魅力再生とインバウンド化

県市議会議長会研修会

8日、県市議会議長会主催による議員研修会が山形市で開催され、共産党市議団3名も参加しました。

「都市の魅力再生とインバウンド化」と題して東京大学名誉教授の月尾嘉男（つきお）氏が講演を行いました。

国策として近年増加を図るインバウンド観光（海外誘客）について、歴史的経過や日本の置かれている現状から問題提起がされました。

特に「実行してはいけない政府依存」とのポイントでは、戦後の政府主導の「むつ小川原開発」の失敗や、地方自治体のテーマパーク戦略の失敗などを事例に掲げ、地域や自治体が自ら、自然や伝統文化など多様な魅力を再発見し、資源としてゆくことが力ギと提言をしました。

併せて、全国各地の活動事例からも、先導する情熱ある人材と、住民の合意による活動の積み重ねが動力になっていることを学びました。

本市の課題としては、地域の魅力を住民自らが共感できる状況であるか。「食文化」を支える農林水産業の実態。ここに光を当て、解決してゆくべき課題と実感してきました。